

春日部市立中野小学校 学校だより

わか たけ

若竹

令和2年6月30日 令和2年度第4号

春日部市東中野654 電話746-8271 児童数328名 令和2年7月1日現在
<https://schit.net/kasukabe/esnako/>

学校教育目標

- なかよくーやさしく思いやりのある子
- かしこくー学習習慣を身につけ、意欲的に学ぶ子
- のびのびとーめあてを持って、最後までがんばる子

今月の生活目標

じゆぎょう 授業のはじまる時刻をまもろう

学校が再開しました

英語の授業が始まりました ～外国語活動・英語～

校長 木田 真貴子

学校が再開し、子供たちの元気な声が戻り1ヶ月が過ぎました。新しい生活様式も加わり制限が多い中の学校生活ですが、子供たちは元気いっぱい過ごしています。6月当初は分散登校が続きましたが、6月15日(月)には学級の仲間がそろい、学級目標や係分担を決め、やっと学級が動き出しました。委員会活動や係活動など、責任をもって取りくんでいます。また、授業中に教室を訪問してみると、今、どんなことを勉強しているのか、どんな発見をしたのか、子供たちはたくさん報告してくれます。学校生活の楽しさ、先生や友達と一緒に学ぶ喜びを再認識しているようです。

さて、今年度は新型コロナウイルス対策で始まりましたが、実は小学校の授業が大きく変わる年でもあります。特に大きな変化は、「英語の教科化」です。これまで小学校5、6年生で行っていた外国語活動の授業は3、4年生で年間35時間実施し、5、6年生は英語の授業を年間70時間実施します。3、4年生の外国語活動は、これまでの5、6年生で実施してきた外国語活動と同じように「英語に親しむとともに自分や身の回りのことについて質問したり答えたりすること」が目標となり、主に「聞く・話す」が中心となります。文部科学省が定めた学習内容では外国語活動は3、4年生が実施するものですが、春日部市では低学年のうちから英語に慣れる機会を与えるため、小学校1、2年生も年間8～10時間程度英語に触れる時間を設定しています。本校でも、今年すでに1、2年生で外国語活動を実施しています。大きく変わるのは、教科として位置付けられる5、6年生の英語です。これまでの「聞く・話す」だけでなく「読む・書く」の活動も加わり、「より多くの表現を使って、会話が続けられるようになる」ことも目標となります。学期ごとに成績もつきます。5、6年生の教科書を見ると、疑問文、否定文、過去形、3人称、助動詞などこれまでの中学校1、2年生で学ぶ表現が文法的な説明なしに出ていきます。文法から入ってしまうと英語を嫌いになってしまう子供も少なくないので、小学校では、文法については学習せず、定型表現を何度も言って身に付けることが中心となります。

本校では、担任の先生と一緒に、英語専科の福田先生、JTEの白石先生、ALTのシャリーファ先生が外国語活動や英語の授業を行っています。英語を話す機会を増やし、英語嫌いを生まない、楽しい授業を目指していきます。



1年生 虫取り



2年生 ざりがにつり



3年生 学校の周り探検



4年生 学級会



5年生 体育



6年生 苗植え



なかよし学級 給食



業間休み



避難訓練

感染拡大防止のために続けていきます



健康カードチェック



下校後の消毒

お知らせ

「学級会計報告」について

これまで学級会計報告を学期ごとに配付していましたが、今年度より年度末のみの配付といたします。ご理解のほどよろしくお願いいたします。